

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立南恩加島小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	大正区
学 校 名	大阪市立南恩加島小学校
学 校 長 名	原田 聡

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立南恩加島小学校では、第6学年 31名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立南恩加島小学校の結果概要

【国語】国語科の平均正答率は52%で、大阪市を7%、全国を8.9%下回る結果となった。無回答率は4.5%で大阪市と比べて1.6%、全国と比べて1.1%高かった。

【算数】算数科の平均正答率は47%と、国語科に比べるとかなり低く、大阪市を9%、全国を9.4%下回る結果となった。無回答率は6.0%で大阪市と比べて3.2%、全国と比べて2.8%高かった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】領域別では、「読むこと」の平均正答率が59.7%と一番高く、大阪市・全国平均に近い結果であった。これは、過去2年間の本校での国語科を中心とした校内研究の成果の表れであると考えられる。その他の内容を見ると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」で平均正答率63.7%と、大阪市を1.2%上回っている。一方で、「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率は41.9%で、大阪市・全国と比べて約10～11%下回り、「話すこと・聞くこと」の平均正答率は50.5%と、大阪市と比べると12.6%下回っている。今回の結果では、「書くこと」の領域において平均正答率33.9%と、大阪市と比べて10.3%下回る結果となっており、今後の課題である。

【算数】領域別では、「数と計算」の平均正答率が53.2%と高く、大阪市・全国との差が最も小さい結果（約8%差）となった。その他の領域では、約10%以上下回っている。中でも「測定」の平均正答率は51.6%で、大阪市と比べて25.9%、全国と比べて26.5%と大きく下回っており課題が見られた。昨年度の課題であった「データの活用」領域での平均正答率は36.3%で、今回も大阪市・全国と比べて約12%下回る結果となった。今年度の校内研究では、研究教科を「算数科」とし、基礎・基本の定着を図る取り組みを進めているところである。

質問調査より

児童理解および心のケアにおいては、質問紙調査で「学校の楽しさ（93.1%）」や「自己肯定感（90.7%）」において非常に高い数値を示している。その強みを活かし、グループ活動や協働学習を通して自他を尊重する関係性をさらに育てていく。一方で、「困りごとを大人にいつでも相談できる」と答えた児童が74.4%にとどまり、約4分の一の児童が不安を抱え込んでいる可能性があることを重く受け止める。学習者用端末を活用した「心の天気」による日常的な児童の心情変化の把握と、校内外の相談機能・SOSの出し方についての周知を徹底し、すべての児童が安心して学校生活を送れるサポート体制を強化していく。

今後の取組（アクションプラン）

これらの結果および児童質問紙調査を踏まえ、本校では「教科指導による学力・思考力の向上」と「安心できる相談体制の構築」を軸とした取り組みを推進する。教科指導において、国語科では、自分の考えを整理して文章で表現する学習や、多様な資料から必要な情報を正しく読み取る総合的読解力の育成を進める。算数科では、具体的な表やグラフの読み取り、求める理由や式を自ら組み立てて記述する課題を日常の授業に組み込み、粘り強く解答を書ききる力を高めていく。

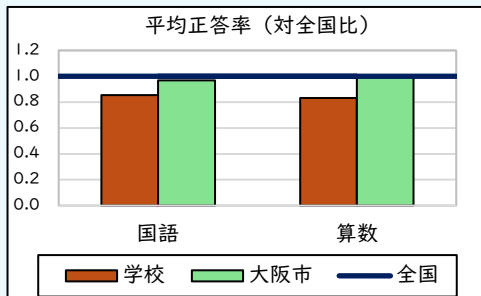
また、これまでの読書に親しむ取り組みを継続し、読書時間を確保することで引き続き「読む」力を育てていく。

質問紙調査の結果から、自他を相互に大切に思う心が育っている。この心をさらに熟成するよう、仲間とともに活動する機会を増やし、充実させていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

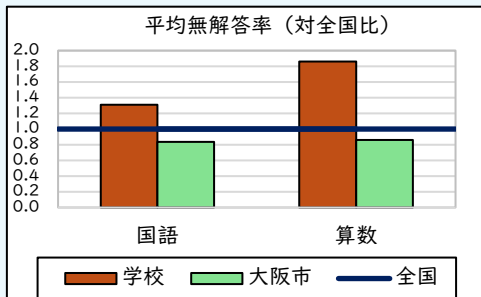
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	52	47
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



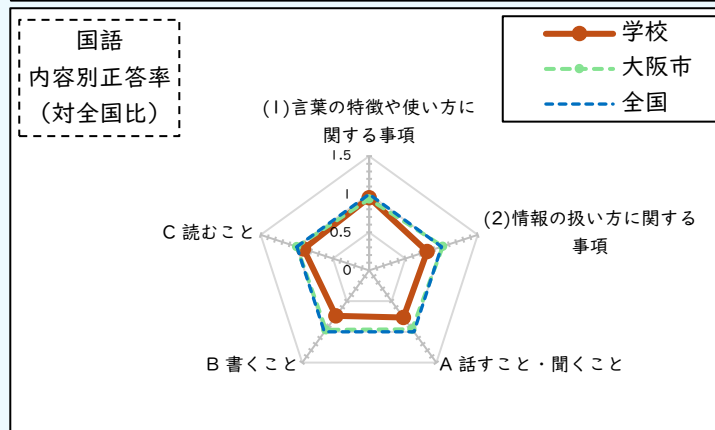
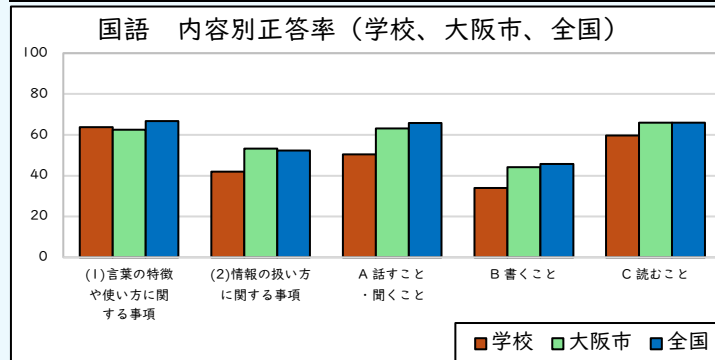
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	4.5	6.0
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



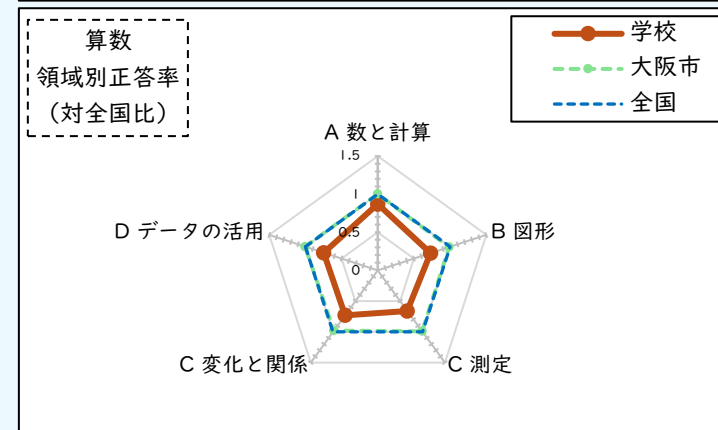
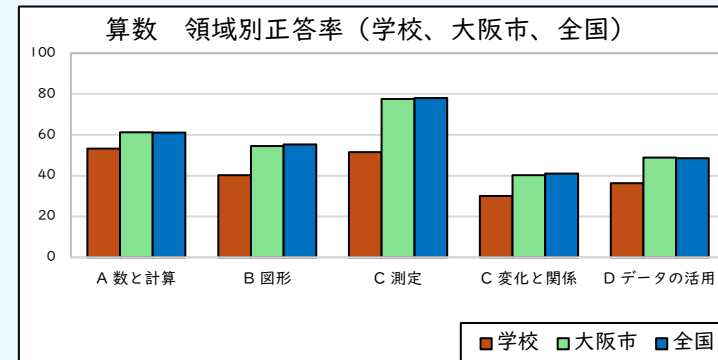
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	63.7	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	41.9	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	50.5	63.1	65.8
B 書くこと	2	33.9	44.2	45.7
C 読むこと	2	59.7	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	53.2	61.2	61.1
B 図形	4	40.3	54.5	55.3
C 測定	1	51.6	77.5	78.1
C 変化と関係	3	30.1	40.3	41.1
D データの活用	4	36.3	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

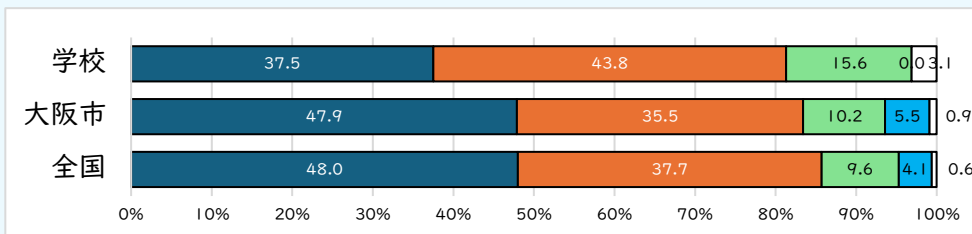
質問番号

質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(15)

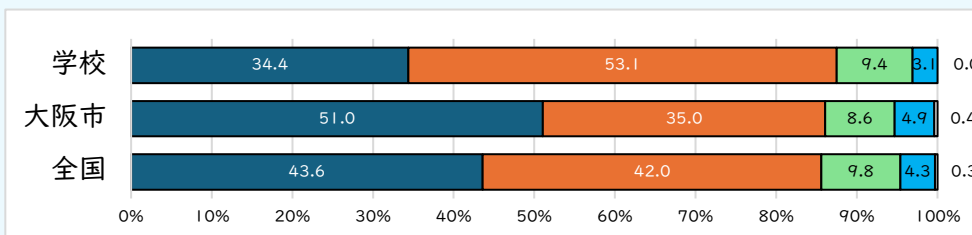
学校に行くのは楽しいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(8)

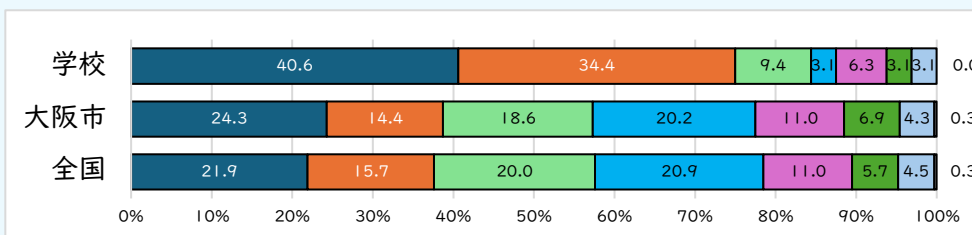
自分には、よいところがあると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(4)

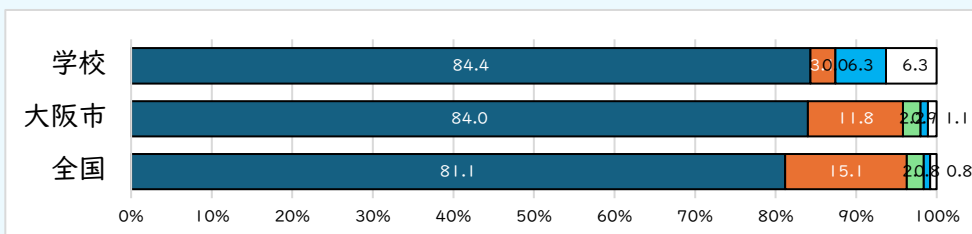
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



1 4時間以上
2 3時間以上、4時間より少ない
3 2時間以上、3時間より少ない
4 1時間以上、2時間より少ない
5 30分以上、1時間より少ない
6 30分より少ない
7 スマートフォン等を持っていない

(12)

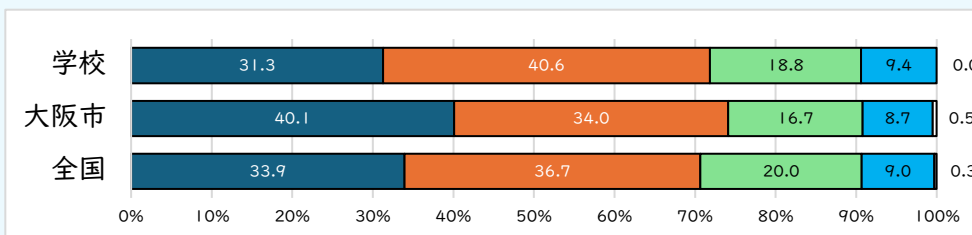
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(13)

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

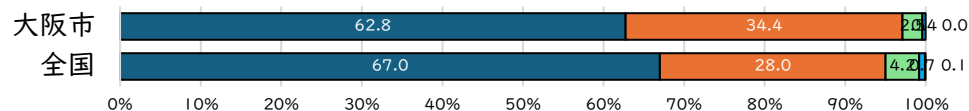
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(13)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 1 そう思う

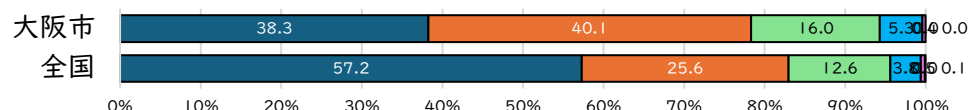


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(60)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

【学校の回答】 1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）

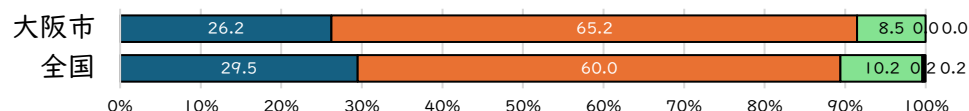


1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
3 週3回以上
4 週1回以上
5 月1回以上
6 月1回未満

(33)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

【学校の回答】 1 よく行った

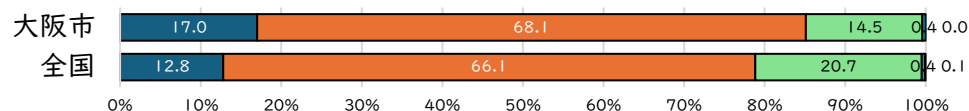


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行かなかった
4 全く行かなかった

(27)

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

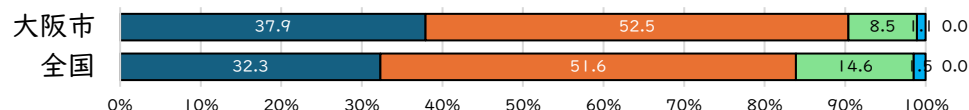


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない